

**「神戸市学校給食センター整備計画 改定案」についての
市民意見の概要及び神戸市教育委員会の考え方**

○募集期間：令和4年11月1日（火曜）～令和4年11月30日（水曜）

○ご意見数：219通（605件）

※ご意見は、同様の趣旨のものをまとめて掲載しています。
また、趣旨を踏まえて要約していますので、ご了承ください。

1. 給食センター整備計画改定案に対する意見（計106件）

NO	意見の概要	意見に対する教育委員会の考え方
1	給食センターの整備を進めてほしい。子供が減っていく中で、安定的・効率的に給食を提供してほしい。【35件】	給食センターの整備・運営にあたっては、財政負担の削減や平準化が可能であり、民間事業者による創意工夫やノウハウの活用が期待できるPFI手法を採用し、効率的に取り組んでまいります。 また、全員喫食制への移行後も、これまで通り教育委員会が献立を作成するとともに、一括して食材を調達し、調理の手順も含めて全て統一するなど、給食の質を担保してまいります。
2	公立施設をつくって公務員が調理するようにしてほしい。【22件】	衛生面においても、国が定める「学校給食衛生管理基準」などに基づき、安全管理や衛生管理を徹底し、安全・安心な給食を安定的に提供できるよう取り組んでまいります。
3	配送や財政負担など、効率的に進めてほしい。【7件】	建設予定地の「神戸テクノ・ロジスティックパーク（神戸複合産業団地）」は広域幹線網に直結した立地であり、配送面での効率性が高く、広範囲に渡って安定的な配送が可能であると考えています。
4	西区に整備する第二給食センターから距離が離れている学校への配送についてどう考えているのか。【23件】	今後、整備・運営を行う事業者が決まった後に、安全性を最優先した上で、配送ルートなどについて協議を行い、余裕のある配送計画の作成に努めてまいります。
5	西区に整備する第二給食センターから、西区の中学校に配送しないのはおかしいのではないかと。【10件】	全員喫食への移行にあたっては、給食センター方式と民間デリバリー方式（民間事業者の調理施設から配送する方式）を組み合わせることで必要な調理体制を確保してまいります。 東灘区及び西区については、本年8月に実施した民間事業者へのサウンディング調査において、民間事業者の参入意向が強かったため、民間デリバリー方式による給食提供を予定しています。
6	整備計画に記載のない東灘区・西区の給食はどうなるのか。【2件】	いずれの方式においても、同じ献立による同じ内容の温かい給食を配送してまいります。

NO	意見の概要	意見に対する教育委員会の考え方
7	西舞子小学校について、隣接地に第一給食センターができるのに、西区に整備する第二給食センターから配送するのはおかしいのではないかと。 【5件】	<p>小学校給食と中学校給食の献立は異なっており、第一給食センターでは中学校給食の調理機能以上に確保することが難しく、小学校の献立による給食をあわせて調理することは困難です。</p> <p>一方で第二給食センターは敷地面積に一定の余裕があるため、中学校分の給食と小学校分の給食を別々に調理することが可能であり、西舞子小学校を含め、現在垂水共同調理場から配送している小学校の給食を、当面は第二給食センターから配送（配送時間は30分程度）することを考えています。</p> <p>保温性に優れた食缶を活用し、これまで同様に温かい給食を提供してまいります。</p>
8	区ごとに1～2か所など小規模な給食センターを設けてほしい。 【2件】	<p>複数の小規模施設に分散して調理をする場合、整備面及び運営面に要する経費が増加し、非効率であるとともに、新たな用地が必要となるため、全員喫食制に必要な調理体制を早期に確保していく上で課題が大きく、困難であると考えております。</p>

2. その他中学校給食に関する意見（計499件）

NO	意見の概要	意見に対する教育委員会の考え方
9	温かくておいしい給食を提供してほしい。地元食材を使用し、安全安心で量の調整もできる栄養バランスのとれた給食を提供してほしい。また、アレルギー等にも対応してほしい。【173件】	<p>全員喫食にあたっては、保温食缶を活用し、栄養バランスがとれ、量の調整にも対応できる温かい給食を提供してまいります。</p> <p>アレルギー対応等に配慮し、生徒にとって魅力的な、おいしい給食を提供できるよう取り組んでまいります。</p>
10	小学校と同じように各学校に給食室を設置して給食を提供してほしい。【127件】	<p>令和3年度に全ての中学校を調査したところ、運動場など学校生活に必要な敷地を利用せずに、敷地内に新たに給食室を整備できる学校は2校のみでした。</p> <p>この調査結果も踏まえ、生徒や保護者の皆さんが強く望まれる全員喫食の早期実現を図るため、給食センター方式と民間デリバリー方式を組み合わせることを基本として必要な調理体制を確保してまいりますので、ご理解願います。</p>
11	近隣の小学校の給食室から中学校に運ぶ方法（親子調理方式）で実施してほしい。【65件】	<p>令和3年度に全ての小学校の給食調理室について、調理能力に余力があるのかどうか調査を行った結果、対応可能な学校は限られますが、費用対効果や効率性等の観点から効果的である場合には、親子調理方式の実施も補完的に検討してまいります。</p>

NO	意見の概要	意見に対する教育委員会の考え方
12	<p>食材の工夫や栄養教諭の配置などにより食育を推進してほしい。 【46件】</p>	<p>食育については、給食時間だけでなく、家庭科等の教科や特別活動など学校教育活動全体を通じて体系的に取り組んでいくことが重要です。</p> <p>そのため、栄養教諭の配置の有無にかかわらず、食に関する動画を給食時間に配信するなど、ICTを活用した食育指導等も含めて工夫しながら、学校全体で取り組んでいます。</p> <p>また、全員喫食そのものが食育の推進につながるものと考えており、早期実現に向けて取り組んでまいります。</p>
13	<p>給食費を無償にしてほしい。 【41件】</p>	<p>本市では子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和2年度より中学校給食費の半額助成を実施しています。また、経済的に困りの方については就学援助により給食を無償で提供しています。</p> <p>給食費を無償化することは多額の財政負担が生じるため、課題が大きいものと考えています。</p> <p>まずは全ての中学生に温かい給食を提供することを最優先に取り組んでまいります。</p>
14	<p>全員喫食の中学校給食を早く実施してほしい。【33件】</p>	<p>全員喫食に必要な調理体制を確保するためには新たに2ヶ所の給食センターを整備する必要があり、第一給食センターは令和7年1月、第二給食センターは令和7年度中の供用開始を目指します。</p> <p>生徒・保護者の皆さんの期待が大きい全員喫食の中学校給食を、可能な限り早期に実現できるよう取り組んでまいります。</p>
15	<p>給食時間をしっかりと確保してほしい。【7件】</p>	<p>給食時間の確保については、食育の推進の観点からも重要であり、全員喫食制への移行までの間においても、生徒や保護者のニーズや意見の変化を十分に踏まえ、これまで以上に十分な喫食時間を確保できるよう検討してまいります。</p>
16	<p>オーガニック食材で給食を実施してほしい。【4件】</p>	<p>本市の学校給食で使用する野菜については、できるだけ農薬や化学肥料を使わずに作られた「こうべ旬菜」を優先使用するなど、地産地消を推進しています。</p> <p>オーガニック食材を使用するためには、量の確保や価格、配送の面など現時点では課題が大きいですが、今後も安全で安心な食材を調達してまいります。</p>

NO	意見の概要	意見に対する教育委員会の考え方
17	<p>校舎建替に伴い、小学校（港島学園、春日野小学校、垂水小学校）の給食室を廃止しないでもらいたい。 【3件】</p>	<p>全市的に児童生徒数が減少傾向にある中で、小学校の給食施設については、将来を見据えた適切な管理・運営に取り組む必要があると考えております。</p> <p>また、小学校の共同調理場について一定の余力が生じてきている状況なども踏まえ、老朽化等に伴って校舎の建て替え等を予定していた垂水小学校、春日野小学校、港島学園について、給食提供方法を変更することとしておりますのでご理解願います。</p>